

防災委員会通信

vol.03
2018.12.4

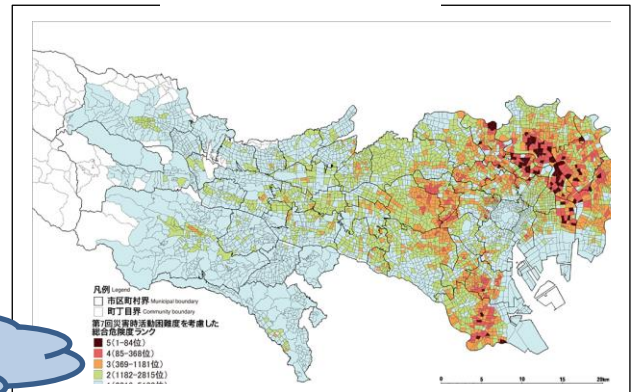
Disaster Prevention News Letter

第3回防災委員会を開催

10月11日（木）第3回防災委員会が開催されました。議題と結果をご報告します。

- ① 災害リスクの把握…各地区のハザードマップが11月末に提出されました。
- ② 総合防災マニュアルの整備…火災（通所）初動マニュアルが世田谷地区から提出され、委員会で検討されました。
- ③ 日常的な防災体制の充実…11月より毎月1回各施設で日常防災点検が始まっています。

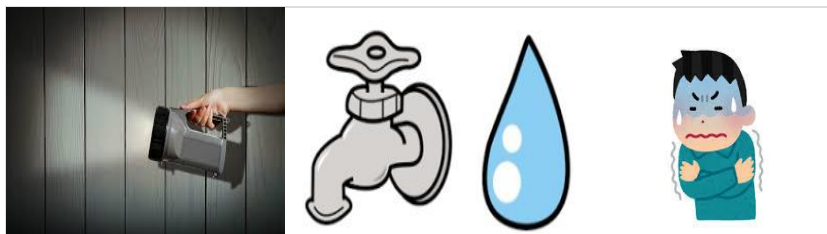
ハザードマップ例



あなたの施設は大丈夫？



- ④ 2019年1月31日 法人総合防災訓練の実施…冬の大規模広域地震後3日間の災害状況を経過時間ごとに予想し、情報不足下での意思決定能力及び状況予測能力の向上を目的としています。当日の役割、準備する物等確認を進めています。



- ⑤ 日本福祉大学・業務提携法人との防災体制の構築…防災協定ファイルを作成し、各施設置き場所を統一します。
- ⑥ 武蔵野会 BCP の整備…法人本部 BCP の第1回会議を開催予定です。

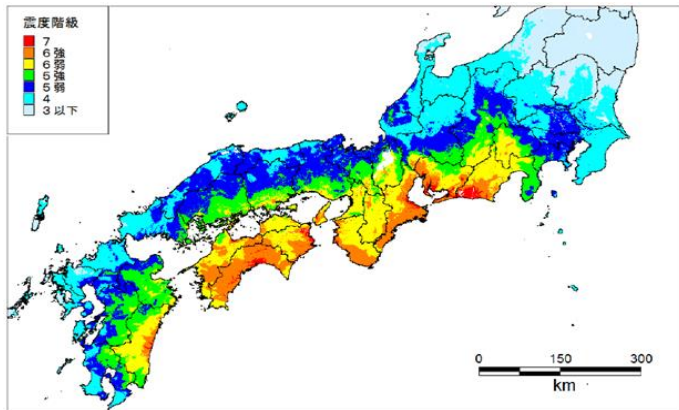


南海トラフ巨大地震 測量船が、11月18日出発

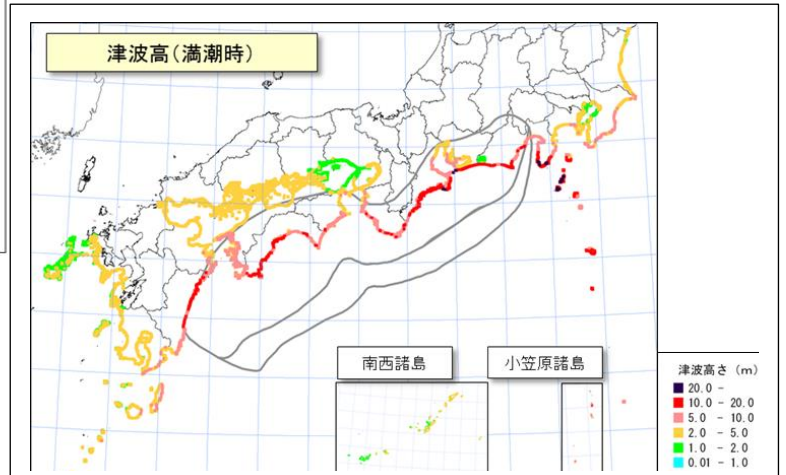
海底の地殻変動を観測する海上保安庁の測量船「明洋」が、11月18日午後、東京・台場を出発しました。「明洋」は、船の底から、海底に設置されている観測点に向けて音波を出し、海底のわずかな変動を測ることで、地震を引き起こす地殻のひずみなどを調べる狙いがあります。観測点は、南海トラフ沿いの海底15カ所に設置されていますが、さらに8カ所増設する方針であるとのこと。

南海トラフ巨大地震は、概ね100年から150年間隔で発生しており、前回の1944年、

1946年地震発生から70年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高まっています。



国土交通省 気象庁
ホームページより抜粋



備えはできていますか？

今一度家族と確認しておきましょう。



家族との伝達手段、
安否確認方法は



家族との集合場所は



避難場所、避難所は

災害用伝言ダイヤル 「171」

音声ガイダンスに従って、安否などの伝言を音声で録音。毎月1日と15日に体験利用が可能です。災害発生に備えて、利用方法を事前に覚えておきましょう！

